

歩けば歴史が見えてくる
ひろしま八区
ぐろっと散策
「みちめぐり」



▲「中国行程記」より「広島城下」 萩博物館蔵
萩藩の図師・有馬嘉徳太が描いた長大な街道地図。古跡や景観とともに各地の史実伝承を物語る解説文も随所に載せられており、18世紀の西国街道の様子がよくわかります。

宿場



草津宿 「小泉酒造」には通称「大門」と呼ばれる関所の門の装具が伝わっています。
上瀬野一貫田宿 海田市と西条四日市の宿所として栄えました。

一里塚



いちりつか
とは街道の1里約4kmごとの両側に設けられた標のことで、多くはその上に標を植えて旅人の目印にした。1604年(慶長9年)に江戸日本橋を起点として、東海・中山道北條連・設置されたのが始まりで、西国街道にも江戸初期の寛永年間(1624-44)にすでに設けられました。

街道松



かいどうまつ
とは街道の景観に変化をつけるため両側に植えられた松。戦国時代では置屋が、江戸時代には五街道を始め、西国街道では約3間(5.4m)ごとに植えられましたが、現在では日市街道松の1本、佐伯区桑々園の2本、安芸区砂走の出迎え松の6本の計9本が残るのみとなりました。

渡場

わたしば
とは渡し賃をとり人馬・荷物を船で対岸に渡す所。常駐した渡しのある地域は船運の交通地として栄えました。「八木渡場」は石路の難所であり、渡しして、両岸の番所に渡賃を払えば、人々により通行できました。

凡例	西国街道 (近世山陽道)	出雲石見街道 (雲石路)	古代山陽道 (影の道)
	三田往來 (三瀬川内道)	都志見往來 (間崎山路巻)	※破線は想定路



この地図は、国土地理院発行の政図(縮尺1:50,000)を加工したものである。
(刊行年が平成3年から平成20年までの9枚の地図を合成)

出雲石見街道の一里塚跡

- 新庄一里塚跡 ○広島城下から北里安芸区新庄三田の新庄橋北詰にあり。かつては新庄村本木庵あり。また、田川水源地の跡地に石が残り、
- 古市一里塚跡 ○広島城下から北2里安芸区古市二田の跡にあり。現在は古市二田の跡にあり。現在は古市二田の跡にあり。
- 八木一里塚跡 ○広島城下から北3里安芸区八木四田の跡にあり。
- 可部一里塚跡 ○広島城下から北4里安芸区可部三田の跡にあり。可部の口と云います。
- 香ノ坪一里塚跡 出雲路 ○広島城下から北5里安芸区八二田の跡にあり。跡にあり。東部の跡にあり。
- 台一里塚跡 出雲路 ○広島城下から北6里安芸区大林町の跡にあり。出雲路の跡にあり。土橋にあり。
- 地蔵河原一里塚跡 出雲路 ○広島城下から北6里安芸区河原九田の跡にあり。史跡として、地蔵河原にあり。
- 可部一里塚跡 石見路 ○広島城下から北6里安芸区可部町南二田の跡にあり。可部の跡にあり。北へ至る可部町に至ります。
- 高須一里塚跡 ○広島城下から西1里西区高須一田と二田の跡にあり。
- 龍神山一里塚跡 ○広島城下から西2里西区井口跡にあり。跡にあり。第三公園付近にあり。
- 岩山一里塚跡 ○広島城下から西3里石見路にあり。跡にあり。石見路の跡にあり。

西国街道の一里塚跡

- 長尾一里塚跡 ○広島城下から東6里東区八木八木、至るの跡にあり。かつては八木八木の跡にあり。かつては八木八木の跡にあり。
- 落合一里塚跡 ○広島城下から東4里安芸区落合二田の跡にあり。石橋にあり。
- 島上一里塚跡 ○広島城下から東3里安芸区島上二田の跡にあり。石橋にあり。
- 海田市一里塚跡 ○広島城下から東2里安芸区海田市町の跡にあり。石橋にあり。
- 矢野一里塚跡 ○広島城下から東1里東区矢野町二田の跡にあり。84号沿いにあり。
- 高須一里塚跡 ○広島城下から西1里西区高須一田と二田の跡にあり。
- 龍神山一里塚跡 ○広島城下から西2里西区井口跡にあり。跡にあり。第三公園付近にあり。
- 岩山一里塚跡 ○広島城下から西3里石見路にあり。跡にあり。石見路の跡にあり。



A

